

中耳炎



①急性中耳炎

<どんな症状>

38℃前後の高熱が出て、ひどく耳が痛くなります。幼児は耳が痛いと訴えることもできますが、乳児は激しく泣いたり、機嫌が悪くなり耳に手をやったりします。

<どんな病気>

耳の鼓膜の奥のほうの中耳に細菌が入り、炎症がおきるのを中耳炎と呼びます。かぜをひいたときなどに、細菌が耳管を伝わって中耳に入り、炎症をおこすのが「急性中耳炎」です。鼓膜が自然に破れて耳だれが出ることもあります。

②滲出性中耳炎

かぜで耳管の粘膜がはれたり、耳管がふさがったりして、鼓膜の内側に液体がたまることを「滲出性中耳炎」といいます。2～3歳ごろからかかりやすいのですが、急性中耳炎のように熱や痛みなどの症状がないので親も気づきにくいものです。呼んでも1回で振り向かないようなことがたびたびあるときは、耳鼻科のお医者さんを受診しましょう。

<手当て>

かぜをひいたときなどに耳を痛がったり、聞こえが悪いと思ったら早めに耳鼻科のお医者さんを受診しましょう。